

■日時 令和5年7月25日(火) 午後3時30分から

■場所 甲府市役所本庁舎4階 大会議室

■出席委員 15名

■欠席委員 4名

■事務局

保険経営室長、健康支援室長、総務課長、介護保険課長、健康政策課長、医療介護連携担当課長、地域保健課長、健康保険課長 外一般職員6名

■次第

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 議事
 - (1) 「高齢者いきいき甲府プラン(R3~R5)」の評価について
 - (2) 介護サービスの整備状況等について
 - (3) その他
- 4 閉会

■議事審議内容

- (1) 「高齢者いきいき甲府プラン(R3~R5)」の評価について

【委員】

資料2「高齢者いきいき甲府プラン事業実施状況(令和4年度)」のp.2「健康づくりの推進」について、活動内容(2)「エビデンスに基づく健康づくりの充実」に、「データ分析等で明らかになった地域課題の解決」と記載されているが、具体的にどのような取り組みをしているのか。

【事務局】

甲府市全体として高血糖の方が多という課題から、「3か月血糖チャレンジ」を実施していることなどが挙げられる。「3か月血糖チャレンジ」は、後期高齢者を対象に、糖尿病やその疑いがある方をデータから抽出し、個別にアプローチすることで、生活習慣改善を支援している。

また、働き盛り世代について、健康に関心はあるものの時間がない、とのデータ分析から、働き盛り世代でも参加しやすいような施策の立案にも繋がっている。

加えて、市内の各地域において、「あなたの地区の出張保健室等」の取組を実施している。市で保有するデータの分析を通して、地域ごとの課題を抽出し、健康課題の解決に向けた施策を実施している。

【委員】

資料2「高齢者いきいき甲府プラン事業実施状況(令和4年度)」のp.6「安心・安全な暮らしの確保」について、どの評価項目がユニバーサルデザインの推進に関与するのか。

【事務局】

「①高齢者人口に対する高齢者向け住宅の割合」が該当する。現在、一人暮らし世帯や核家族の増加など、ライフスタイルが多様化している。時代に合った施設整備を通じて、ユニバーサルデザインの推進を進めていきたい。

【委員】

資料1「高齢者いきいき甲府プラン（R3～R5）」の評価について」のp.7「ウ「介護保険事業計画」の見込量と実績値の状況」について、認知症対応型通所介護の令和4年度の計画比が低い。認知症の利用者が増えている中で、計画比が低い原因は、「どのような業務や取組を実施しているか、認知されていないこと」であると想定する。事業所の紹介等、PRを図ってもらいたい。

【事務局】

令和3、4年度においては、デイサービスに関わる実績値が低い。原因には、コロナの影響もあると想定されるが、目立って低いため、頂いた意見を事務局で検討し、次期計画に反映していきたい。

【委員】

高齢者保健福祉計画と介護保険事業計画は3年度計画だが、単年度ごとに見直しを行っているか。目標値と実績値を比較すると、「消費者トラブル未然防止に関する出前講座の受講者数」のように達成が困難な目標値がある。明らかに達成が困難な目標値を掲げることは避けるべきではないか。目標値について、単年度ごとに修正を行っているか。また、介護保険事業計画の見込量についても、単年度ごとに見直しているのか。

【事務局】

目標値については、コロナの影響で実施できない施策があり、達成が困難なものがあった。時代に合った目標値を設定すべき、との意見もあるため、次期計画では、時代に合った目標値を検討していきたい。

【委員】

介護保険事業計画等の目標値については、単年度ごとの見直しは実施しないのか。

【委員】

計画に記載されている数値を変更することは難しいのではないか。

【事務局】

保険料に関わる部分を修正することは難しいが、修正可能な項目もあるので、必要に応じて見直しを実施していく。

【委員】

資料2「高齢者いきいき甲府プラン事業実施状況（令和4年度）」のp.6「安心・安全な暮らしの確保」について、「災害時に要配慮者が利用できる甲府市福祉避難所の数」は登録数での集計と認識している。登録数のみでは、避難指示が出た際の体制・連携づくりが十分か測れないのではないか。登録だけでなく、登録後の訓練も必要ではないか。

【事務局】

避難訓練について、近年はコロナの影響で実施できていなかったが、昨年度は一部の施設職員と小規模の避難訓練を実施した。また、今年の10月にも、小学校と協力し、開催予定である。登録後の訓練については、防災の担当にも確認し、連携を図っていきたい。

【委員】

資料2「高齢者いきいき甲府プラン事業実施状況（令和4年度）」のp.7「介護サービスの充実」について、ケアプラン点検の主体や点検数の減少の原因など、詳細を教えてください。

【事務局】

ケアプランの点検について、記載されている数字は、甲府市にて点検を行った数である。担当職員数の減少などにより、点検数も減少傾向である。今後、目標を達成できるように取り組んでいきたい。

【委員】

資料2「高齢者いきいき甲府プラン事業実施状況（令和4年度）」のp.8「医療と介護の切れ目のないサービス提供の推進」について、「病院等の医療職及び介護職の方が、高齢者の在宅支援において連携が図れていると実感する人の割合」が年々低下している原因は何か。また、低下への対策として検討している施策を教えてください。

【事務局】

在宅ニーズの増加による、職種間の連携に関する意識向上が、割合低下の原因だと想定している。意識が高まったことにより、高いレベルでの連携を求め、連携を実感する割合が低下したと想定する。現在、新たに4つのワーキングを設置し、取組について協議を実施している。

【委員】

意識向上によって割合が低下するとのことだが、成果指標として適切なのか。

【事務局】

本指標が望ましいかどうか、この場で判断するのは難しいため、引き続き検討する。

【委員】

連携が図れていると実感する人の割合について、どのように調査を実施したのか教えてください。

【事務局】

顔が見える関係づくりの交流会を実施して、その参加者にアンケート調査を実施した。

【委員】

資料1「「高齢者いきいき甲府プラン（R3～R5）」の評価について」のp.3「イ 施策の実施状況の評価」の施策4「地域における生活支援・介護予防の充実」について、担い手の確保や仕組みづくりが難しいことにより、立ち上げに課題があると記載されているが、立ち上げに関する対策を実施しないのか。

【事務局】

社会福祉協議会に委託している状況である。通所サークル事業については、個別に働きかけを行っているが、ボランティアであるため活動の担い手が見つかりにくい。取組を開始したばかりではあるため、地道に働きかけを続けていきたい。

【委員】

地域全体で見守るという観点はとても重要であるため、工夫して見直しをしてもらいたい。

【委員】

資料2「高齢者いきいき甲府プラン事業実施状況（令和4年度）」のp.4「地域における生活支援・介護予防の充実について」について、移動手段がないという問題が重大であると感じる。通いの場への参加者数を増やすためには、身近な地域において、集まる場所を提供する必要がある。場所の確保に対して、どのような検討を行っているか。

【事務局】

いきいきサロンについては、各地域の自治会連合会と連携し、場所を借りている。社会福祉協議会に委託し、年間40サロンとの連携を推進している。サロンの立ち上げに関する支援（ソフト面）と、活動場所の提供に関する支援（ハード面）を併せて検討していきたい。

また、ふれあいクラブについては、地区の愛育会と連携し、実施している。移動手段の問題は重要であるため、愛育会と連携し、足を運びやすいところを検討していきたい。

(2) 介護サービスの整備状況等について

【委員】

広域型の特別養護老人ホームについて、なぜ居宅サービスの定員数を減らして特別養護老人ホームの定員数を増やしたのか。特別養護老人ホームの床数を増加させるための計画という認識でよいか。背景があれば教えてもらいたい。

【事務局】

20～30年後には、高齢者人口が減少すると予測されており、今後新たに建物を建造すると、将来的に無駄となってしまう可能性が高いことが挙げられる。また、特別養護老人ホームの待機者数が増加しており、山梨県において、特別養護老人ホームの待機者数を0にする方針が打ち出された。そうした状況や県との協議をもって、特別養護老人ホームの床数を増やすことを決定した。全国的な傾向を踏まえ、さらに検討を行っていききたい。

【委員】

各施設の合計待機者数は延べ人数だと想定しているが、実際の待機者数は把握できているか。

【事務局】

山梨県全体での実際の待機者数は約1,700人であり、甲府市だと700～800人程度だと想定している。

【委員】

現場の感覚だと待機者数は減少しているように感じる。明確な数値で示してもらいたい。

【委員】

中核市は、広域型特別養護老人ホームの整備も担当する認識で良いか。一般的には、地域密着型特別養護老人ホームの整備は市が担当し、広域型特別養護老人ホームの整備は県が担当する。

【事務局】

認識に相違ない。中核市は、広域型特別養護老人ホームの整備も担当する。

【委員】

広域型特別養護老人ホームについて、甲府市の待機者数の実数を把握することは難しいのではないか。

【事務局】

県と協議しながら進めていききたい。

(3) その他

【委員】

次期計画策定について、高齢者が読むことを想定し、可能な限り平易な言葉を使用してもらいたい。特に一般的ではない横文字を避けてほしい。横文字を使用する場合は、カッコ書きで日本語の意味を記載してもらいたい。

【事務局】

高齢者の方々に分かりやすい計画を策定していききたい。

【委員】

甲府市は様々な施策を実施しており、主担当が高齢者福祉課連部署ではない施策においても、高齢者が関わる施策があると想定している。計画の領域ごとで施策を分断せず、様々な計画で連携できるとよい。

資 料：

1. 「高齢者いきいき甲府プラン（R3～R5）」の評価について
2. 高齢者いきいき甲府プラン事業実施状況（令和4年度）
3. 介護サービスの整備状況等について